



青カミシ

烏山北小学校の教育目標

◎すすんで学びよく考える子ども

○豊かな心をもち仲良く助け合う子ども

○すすんで健康な体をつくる子ども

重点目標 みとめあい まなびあい そだてあい

<目指す児童像> 「かしこい子」「らしさを大事にする子」「きりつ正しい子」「たくましい子」

令和7年11月29日(土)
創立73周年 No. 8

烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長 河野 芳浩
〒157-0061 世田谷区北烏山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785
学校HP <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>



みとめあい まなびあい そだてあいは 行事でも♪

校長 河野 芳浩

から北小の2学期は、大きな学校行事を2つ経験します。体育的行事として運動会、文化的行事として今年度は展覧会です。

運動会は、練習期間も含めて暑熱対策を考慮して10月下旬に行いました。

実際、暑さの面では10月に入るまで猛暑が続いたため、暑さが避けられる練習日程で練習を行うことができて一安心でした。また、本番当日も、日差しはありましたが、20度程度の気温で、児童席のテントも今回は設置せずに実施することができました。

プログラムでは、全校児童が整列する開会式を久しぶりに行い、別日に行っていた全校大玉送りも時間をやりくりしてプログラムに入れることができました。閉会式には、PTA会長さんから児童へ温かい言葉をいただきました。土日の雨で2回の延期により平日開催にはなりましたが、とてもいい運動会になったと嬉しく思いました。

から北小の運動会は、赤白の組分けを行わず勝負はありません。応援団は、みんなを応援し、みんなの健闘をたたえます。運動会を終えた後の児童のやりきった笑顔がとてもすてきでした。

展覧会は、11月下旬に行われます。図工の作品、5、6年生の家庭科の作品、たて割り班で作った作品を展示します。『展覧会では大切な3つの「宝物」を与えられる』と全校朝会でお話しました。

1つ目は、「できた!」という最高の気持ちです。長い時間かけて、失敗しても、途中でイヤになっても、「絶対にいいものを作るぞ!」と頑張って作り上げた作品。それを多くの人に見てもらうことで、「自分の力でやりきった!」という、大きな自信が生まれます。展覧会は、頑張った証を認め合う場所です。

2つ目は、「新しい見方」が手に入ることです。友達の作品をじっくり見ると、自分の考えつかなかったアイデアや、ものの見方がたくさん見つかります。このことは、「ひらめき」の力や、作品の良さを発見する「鑑賞力(かんしょうりょく)」を大きく育ててくれます。

3つ目は、ぜひ自分で感じ、考え、見付けてほしいと話しました。準備、鑑賞、片付けを通して、どんな宝物が与えられたのか。一人一人感じ方は違うと思います。でも、どの子にも宝物は与えられています。展覧会を楽しみながら、自分にとっての宝物は、いったいなんなのか。感じ取ってほしいと思います。

展覧会は、ただの作品展示発表会ではなく、「自信」と「ひらめき」など、子どもたちを大きく成長させる宝物が与えられるすてきな場所です。

2つの行事を通して、大きな成長がみられた2学期となりました。12月を迎え、2学期もいよいよまとめの時期です。2学期の生活を振り返り、どんな力が付いたのか、なりたい自分の姿に近づけたのか。様々な角度から自分自身を見直しながら2学期と2025年を締めくくっていきたいと思います。

今月も「みとめあい まなびあい そだてあい」の、から北小の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。